ESET Endpoint アンチウイルス for Linux V12.1 リリースノート

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

（2025 年 10 月）

■ はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET Endpoint アンチウイルス for Linux V12.1 を正しくご利用頂くための情報が記載されています。
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■ インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- 本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- 本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- 本製品をインストールする場合は、root 権限（スーパーユーザー）でインストールしてください。
- 本製品は AWS カーネルを利用した Linux ディストリビューションはサポートされていません
- 本製品をインストールするには OS リポジトリに接続できる必要がございます。
- 本製品のインストール時に不足しているパッケージについてはインストール時に合わせて OS リポジトリから取得しインストールされます。
- 本製品のインストールを行う前に、導入されているプログラムをアップデートしてください。

・　本製品をインストールするコンピューターに前提となる要件を満たしているか確認してください。
- プロセッサー Intel/AMD x64
- 700MB のハードディスク空き領域
- openssl 1.1.1 以降のバージョン
- UTF-8 エンコーディングを使用する任意のロケール

その他については、オンラインヘルプのシステム要件をご確認ください。
https://help.eset.com/eeau/12.1/ja-JP/system_requirements.html

・　本製品をインストールするコンピューターには、上記記載のプログラムほかに次のプログラムがインストールされます。

◇RHEL に必要とされるパッケージ
- gcc
- make
- elfutil-libelf-devel
- kernel-devel
- nftables
- libcurl
- nss-tools

◇Ubuntu、Linux Mint、Debian に必要とされるパッケージ
- gcc
- make
- libelf-dev
- linux-headers-generic
- linux-headers-generic-hwe
- nftables
- libcurl4
- libnss3-tools

※ 不足している記載パッケージと依存性関連のパッケージが OS リポジトリより取得、導入されます。
ただし、Ubuntu 22.04 LTS および Linux Mint 21 上の最新カーネルで必要な「gcc-12」については、手動で導入する必要があります。

■　製品マニュアルについて

本製品のマニュアルにはオンラインヘルプとオンラインヘルプ補足資料があります。
はじめにオンラインヘルプ補足資料を確認してください。
オンラインヘルプ補足資料は「ユーザーズサイト」よりダウンロードすることが出来ます。

ユーザーズサイト
https://canon-its.jp/product/eset/users/

オンラインヘルプ
https://help.eset.com/eeau/12.1/ja-JP/

■　旧バージョン（V12.0）からの変更点について

以下の機能が追加されました。

□　検出シグネチャの更新頻度の向上

検出シグネチャの更新頻度が高くなりました。

□　Debian 13 のサポート

Debian 13 に対応しました。

以下の機能が変更されました。

□　プロキシサーバの設定箇所の変更

プロキシサーバの設定箇所が[ツール]セクションから[接続]セクションに再配置されました。

■　使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容を確認してください。

□　ミラーサーバーを使用したアップデートについて

本製品をミラーサーバー経由でアップデートする場合は、ミラーツールの --updateServer オプションを使用して Linux 版のモジュールを取得したミラーサーバーを作成する必要があります。

詳細については以下のオンラインヘルプを参照ください。
https://help.eset.com/protect_install/12.1/ja-JP/mirror_tool_linux.html

□ 検出除外について

本製品の検出除外については、EP のポリシーではなく、EP の[検出] より除外する検体を選択、[除外の作成]より検出除外に登録してください。

詳細については以下のオンラインヘルプを参照ください。
https://help.eset.com/protect_cloud/ja-JP/create_exclusion.html

□ 自動アップデートについて

本製品の自動アップデート機能を利用して製品のアップデート後、再起動するとまれに「モジュールアップデートが失敗しました。アクティベーションされていません。」とセキュリティアラートが表示されることがあります。
バックグラウンドでモジュールのアップデートが行われており、モジュールアップデートが完了するとステータスが正常に戻りますので、モジュールアップデートが完了するまでしばらくお待ちください。

□ デバイス制御について

デバイス制御で SD カードはサポートされていません。

□ リポジトリへのプログラム公開について

本製品のリポジトリ公開は、同世代の EP on-prem 以降で公開される仕様となっています。そのため本製品バージョンより古い EP on-prem をご利用の場合、最新のプログラムが公開されない場合がございますのでご注意ください。

■ 既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。
これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。
最新の情報につきましては弊社 FAQ サイトの案内をご確認ください。

ESET 製品 FAQ サイト：
https://eset-support.canon-its.jp/?site_domain=business

□　隔離から復元した検体が即時に検出されない現象について

本製品で隔離した検体を復元する場合、復元した検体がリアルタイム検査で即時に検出されない現象を確認しております。

□　標準出力にエラーが表示される現象について

本バージョンをインストールまたはアップデートする際、標準出力に「N: ファイル'<インストーラパス>'がユーザ'_apt'からアクセスできないため、ダウンロードは root でサンドボックスを賭さずに行われます。 - pkgAcquire::Run(13:許可がありません)」とメッセージが出力される現象を確認しております。
表示上の問題でインストール処理は正常に行われていることを確認しております。

□　Web アクセス保護機能を除外してインストールする際に出力されるログについて

Web アクセス保護機能を除外してインストール（※）を行った際、アップグレード時に「libnss3-tools」と「nftables」をインストールコマンドの引数に指定して実行するようログ出力される事象を確認しています。

[出力されるログ]
To upgrade ESET Endpoint Antivirus to newer version, use:
apt-get install ./eea-12.1.1.0-ubuntu20.x86_64.deb libnss3-tools- nftables-

Web アクセス保護機能を除外してインストール・アップグレードする場合は、「libnss3-tools」と「nftables」の導入は不要です。

（※）Web アクセス保護機能を除外するインストールコマンド（例）
ESET_DISABLE_NFTABLES=1 ./eea-12.1.1.0.x86_64.bin

■ 製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：
https://canon.jp/biz/solution/security/it-sec/lineup/eset

ユーザーズサイト：
https://canon-its.jp/product/eset/users/

オンラインヘルプ：
https://help.eset.com/eeau/12.1/ja-JP/

自動アップデート機能に関するページ：
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/28331?site_domain=business